

災害リハビリテーションの基礎知識

栗原正紀¹⁾

Key Words

生活不活発病 災害関連死 災害リハビリテーション
日本災害リハビリテーション支援協会 (JRAT) 地域 JRAT

内容のポイント Q&A

Q1 災害時の生活不活発病・関連死とは？

災害が起こると被災者は平時に行っていた参加・活動の場・機会をなくす。ことに高齢・障害者等の要配慮者は避難生活において活動が不活発となり、容易に心身機能の低下、生活不活発病となり、慢性疾患の増悪や新たな疾患等を併発し、いわゆる、災害関連死となる危険性が高い。そのため、災害に伴う生活不活発病は「防ぎ得る生活機能低下 (preventable disability)」, そして災害関連死を「防ぎ得る死 (preventable death)」と認識し、災害直接死を防ぐ対策と同等の防災対策が求められる。

Q2 災害リハビリテーションとは？

災害リハビリテーションとは「被災者・要配慮者等の生活不活発病および災害関連死等を防ぐために、リハビリテーション医学・医療の視点から関連専門職が組織的に支援を展開することで、被災者・要配慮者等の早期自立生活の再建、復興を支援する活動のすべてをいう」(2019年4月, JRAT)と定義されている。

Q3 災害リハビリテーションの国内における体制は？

2020年4月にリハビリテーション関連団体によって構成された“一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会”が誕生した。本協会の前身は東日本大震災時に結成され、組織的に支援活動を行った“東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体”の経験を基に、きたる大規模災害に備えたリハビリテーション支援組織として2013年7月に再編された“大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会”(13団体が加盟)であり、法人化に伴い、名称変更を行った。

Q4 地域 JRAT とは？

地域 JRAT は「都道府県単位で組織化されたもので、その都道府県を代表して、平時には災害リハビリテーションチームの育成、関係各機関・団体との連携強化および地域住民への教育・啓発等、防災・減災活動を実施するとともに発災時には組織的かつ直接的支援を行う核となる」と定義されている (JRAT)。2020年10月時点で全国47都道府県に開設され、全国を6ブロックに分けている。

Q5 JRAT の具体的支援活動は？

JRAT の主な役割は①避難所環境評価、整備提案、②避難所等、要配慮者に関する災害リハビリテーショントリアージ、③生活不活発対策、④リハビリテーション医療資材等 (福祉機器) の適時・適切な供給、そして⑤避難生活での役割、活動、参加等を提案していくことであり災害地域の早期自立・復興を目指す。

An important role of rehabilitation assistance in disaster ~Introduction of Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team (JRAT)~.

1) Masaki Kurihara MD 一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院、一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会代表

災害リハビリテーションの実際

近藤国嗣¹⁾

Key Words 災害リハビリテーション フェーズ 情報 ロジスティクス

内容のポイント Q&A

Q1 平時の災害リハビリテーションとして実施すべきことは？

JRAT 本部、構成団体、地域 JRAT とともに、組織内の災害リハビリテーション実施に当たっての諸課題を検討しながら体制を構築する。あわせて行政、医師会、DMAT 等、他の災害対応団体との連携を深める。また教育・研修を継続して実施し、災害リハビリテーションチーム、ロジスティクス要員の育成を行う。

Q2 発災時の災害リハビリテーションで重要なことは？

JRAT 本部は行政、構成団体、他の災害対応団体、地域 JRAT と連携して情報を収集し、速やかに災害対策本部の設置判断をする。地域 JRAT は都道府県庁に設置される保健医療調整本部に参集し、情報の収集と各団体との連携を図る。即応要員が不足する場合には RRT をブロック内もしくは JRAT 本部に要請する。災害リハビリテーションの実施が必要な場合は現地対策本部を立ち上げ、JRAT 本部と協力しながら災害リハビリテーションチームのマネジメントを実施する。

Q3 復旧期のリハビリテーションで重要なことは？

地域特性に応じた平時の医療、福祉体制に戻すことを目標にしており、出口戦略をもって適切な時期に自地域外からの支援終了を判断し、地域 JRAT 単独による災害リハビリテーション活動そして地域リハビリテーションへと移行する。

Q4 情報管理で重要なことは？

情報を一元化して、迅速かつ的確なリハビリテーション支援を行うために、JRAT 本部および被災地の地域 JRAT が相互に補完して行う。また、情報収集にあたっては、保健医療調整本部で得られる情報に加えて、報道各社のホームページ等からの情報 EMIS 等も活用する。重要な情報は記録するだけでなく各本部内で見える化して共有する。また、避難所情報および支援の内容ならびに個別リハビリテーションを実施した被災者等の情報を共有してチームが変わってもシームレスな対応ができるようにする。

災害時のリハビリテーション医療と支援における感染症の問題

—特に新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応について—

富岡正雄¹⁾ 森川 明²⁾ 佐浦隆一¹⁾

Key Words

新型コロナウイルス COVID-19 災害時のリハビリテーション医療と支援
JRAT 避難所

内容のポイント Q&A

Q1 災害支援活動で知っておくべき感染症対策は？

避難所は感染が発生し、蔓延する危険性の高い場所であるため、感染を持ち込まない、流行させない取り組みが必要であり、支援者は感染症やその予防についての基本的な知識を身につけておかなければならない。国立感染症研究所が公表するリスクの高い感染症に随時注意を払い、避難所の衛生環境の向上を心がける。

Q2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) とは？

2019 年 12 月、中国湖北省武漢市から瞬く間に全世界へ広がった感染症であり、病原菌は新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) である。飛沫 (エアロゾルを含む)、接触で感染し、主な症状は咳、発熱、息切れ等で、高齢者や疾病保有者は重症化しやすく重篤な転帰をとることも少なくない。わが国では 2020 年末の時点でワクチン投与はまだ行われていない。

Q3 COVID-19 拡大下のリハビリテーション医療とは？

リハビリテーション医療職は患者と近い距離で長時間対面で評価・診断や治療をすることが多く、新型コロナウイルスの感染の媒体となりやすいため、自らが感染しない、他者に感染させない対策を個人あるいは施設レベルで徹底する。COVID-19 患者へリハビリテーション治療を実施する場合には、関連学会等から公表されている Q&A や注意事項等を参考に、各施設で具体的な感染対策を行い、慎重にリハビリテーション治療を実施することが求められる。軽症例には廃用症候群予防を、重症例には呼吸管理等、集中治療を行うが、多くの施設で疾患別リハビリテーション治療が必要な患者が COVID-19 に感染した場合の対応に苦慮しているのが現状である。

Q4 COVID-19 拡大下の災害時のリハビリテーション医療と支援活動とは？

3 密回避のために避難所あたりの収容人数を減らす必要があり、その結果、避難所数は増える。また、車中泊避難者が増えることも危惧される。新型コロナウイルスが流行しないように避難所の環境を保ちながら、支援者がウイルスを持ち込まないように十分に注意して高齢者の生活不活発病予防対策等を行う。災害時の感染対策、COVID-19 拡大防止に努めながらリハビリテーション医療や支援活動を行うが、これまでよりも支援体制が大きく制限されるため、新しい支援方法を真剣に講じておかなければならない。

Infectious disease issues during rehabilitation medicine and support in times of disasters - In particular, the response to Covid-19 -.

1) Masao Tomioka MD PhD, Ryuich Saura MD PhD 大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室

2) Akira Morikawa PT 第二東和会病院リハビリテーション科

日本医師会からみた災害医療と災害リハビリテーション

長島公之¹⁾

Key Words

災害医療 災害リハビリテーション 日本医師会災害医療チーム (JMAT)
日本災害リハビリテーション支援協会 (JRAT)

内容のポイント Q&A

Q1 災害医療における医師・医師会の役割は？

災害発生前、発災直後、超急性期、急性期以降、収束の各段階での適切な対応を行い、最終的には被災地に地域医療を取り戻す。医師会は、その組織力、ネットワークを最大限に活用して医療支援を行う。災害の各段階で、被災地外の医師会の協力のもと、被災地の支援を行う。行政とのカウンターパートとなるとともに、さまざまな団体と多職種・多業種連携を行う。災害医療の研修・教育を行う。

Q2 日本医師会災害医療チーム (JMAT) とは？

日本医師会の依頼により、都道府県医師会が編成し、被災地に派遣される医療チーム。災害急性期以降における避難所・救護所等での医療支援や健康管理、被災地の公衆衛生支援等、災害前からの医療の継続に加え、被災地の医療機関への円滑な引き継ぎを行う。被災地内の JMAT と、被災地外から支援する JMAT が相互連携し活動する。チームは医師を含む職種で構成され、理学療法士、作業療法士が参加する場合もある。

Q3 日本災害リハビリテーション支援協会 (JRAT) との連携は？

日本医師会は 2017 年に「JMAT の枠組みの下で、JRAT との連携を推進する方向性」を示し、日本医師会から都道府県医師会に、「災害時医療支援活動における JMAT と JRAT の連携推進および地域 JRAT 設立と育成への支援について」依頼する連絡を行った。平成 28 年 (2016 年) 熊本地震以降、JRAT は、各都道府県医師会が派遣する JMAT の枠組みの下、活動している実績がある。

Q4 災害医療の今後は？

今後の社会や環境の変化への対応が必要となる。少子高齢社会への対応としては、平時からの地域包括ケアシステムの構築、激甚化する自然災害への対応としては、想定外の枠を最大限に広げること、新型コロナウイルス感染症への対応として、被災者・被災地への派遣者の感染対策、マスメディア災害への対応としてガイドブックの活用、全体的には、進歩する ICT の活用が重要である。

Disaster medicine and Disaster rehabilitation seen from Japan Medical Association.

1) Kimiyuki Nagashima MD 公益法人日本医師会常任理事

災害リハビリテーションにおける地域の活動

—佐賀災害リハビリテーション推進協議会(佐賀 JRAT)の活動を通して—

浅見豊子¹⁾

Key Words 災害リハビリテーション JRAT 地域 JRAT 佐賀 JRAT

内容のポイント Q&A

Q1 地域における災害リハビリテーションのあり方とは？

地域 JRAT を地域に応じた体制で構築し、地域内の行政や災害医療団体との強固な連携のもとに、地域に必要な災害リハビリテーション支援を行うことが重要である。

Q2 地域における災害リハビリテーションの実践は？

地域 JRAT は発災時には JRAT 本部の協力を得ながら災害リハビリテーションチームを派遣し、組織的かつ直接的な災害リハビリテーション支援を行う。また、支援を円滑に行うために、平時より地域内の人材育成に努めることが重要である。

Q3 地域における災害リハビリテーションの研修は？

平時より災害リハビリテーションにかかわる人材育成のために地域研修や全国研修を活用して災害リハビリテーション支援チームを教育する。また、市民講座や広報等により地域住民の教育啓発も必要である。

Q4 地域における災害リハビリテーションの連携は？

地域 JRAT は JRAT 本部と情報を共有しながら、行政や DMAT, JMAT, DHEAT 等の他の災害医療団体と平時より交流を深め、連携を図っていくことが重要である。発災時には、連携により情報を一元化・共有化し、地域 JRAT としての適切な災害リハビリテーション支援活動を行う必要がある。

Local disaster rehabilitation activities : The activities of the Saga Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team (Saga JRAT).

1) Toyoko Asami MD 佐賀大学医学部付属病院リハビリテーション科、佐賀 JRAT 代表